

知っていますか？「ハンプ」と「スムーズ横断歩道」の役割

歩行者の命にかかわる事故になるかは、車のスピードで決まります。
車の速度が時速30kmを超えると、歩行者の致死率は急激に上昇します。

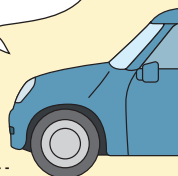
ハンプ

道路の一部をゆるやかに盛り上げた部分のことです。色をつけて目立たせることでドライバーが手前で速度を落とす効果が期待できます。



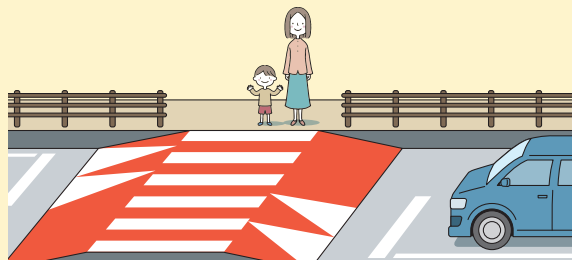
ゆるやかなスロープ状だから
“ガタン”という衝撃はないよ！

高さ10cm
平坦部
2m以上



スムーズ横断歩道

横断歩道の路面を盛り上げてドライバーに横断歩道と歩行者の存在を強調し、自然に減速を促す仕組みです。



ハンプやスムーズ横断歩道は
重大な事故を防ぐ「カギ」です。



ウインカーは曲がる30メートル前から必ず出して周囲に意思表示をしてね！

佐賀県交通安全
キャラクター
マニャー

特集 焦る心に、ブレーキを。 事故を防げるのは、あなた。

県内では、歩行者が犠牲となる交通事故があとを絶ちません。2024年、県内の交通死亡事故は24件。そのうち歩行者が犠牲となった事故は10件も発生しています。どんな道でも、事故を防げるのは、ドライバーであるあなたです。年末の慌ただしくなる今こそ、自分の運転を振り返ってみませんか。

信号が黄色に変わるとき、「まだいけるかな」とアクセルを踏む。横断歩道に歩行者が見えたとき、「自分が止まらなくても大丈夫だろう」と通り過ぎる。その一瞬の判断が、大切な命を奪うことがあります。

忙しいときこそ、焦らない運転を心がけましょう。歩行者を見かけたら、スピードを緩めて安全を確認。どんな状況でも、歩行者が優先です。目的地に数分早く着くより、事故を起こさない運転を。焦る心に、いちばん強くブレーキをかけてください。

サガ ブルー プロジェクト SAGA BLUE PROJECT

県民一人ひとりが「交通事故ゼロ」を目指し、自らの行動を見直す交通安全の取り組みです。
県では、ハード[交差点の環境整備など]、ソフト[意識醸成]両面から交通事故ゼロを目指しています。

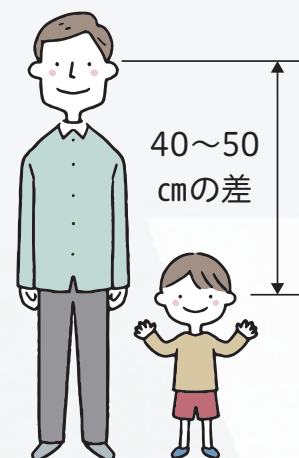
SAGA
BLUE
PROJECT



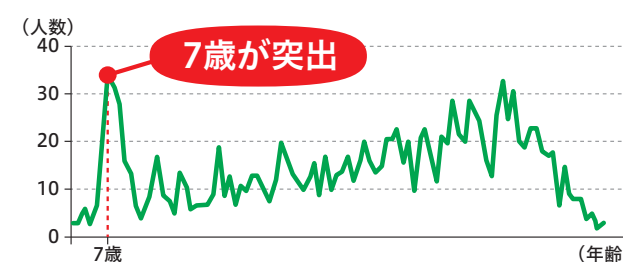
7さいめせんのこうつうあんぜん こどもと大人は目線が異なります

小学校入学後、登下校などで一人で歩く時間が増えることで、年齢別では他と比べて7歳の事故が多くなっています。7歳の平均身長はおおよそ120cm。大人より低い視線から見ると、塀や低木などに遮られて、道路の状況が見えづらくなります。さらに、突然走りだす、縁石の上を歩くなど、思いがけない行動をとることも。だからこそ、こどもを見かけたら迷わずスピードを落とすことは、ドライバーの責務です。

佐賀県では、「7さいめせんのこうつうあんぜん」として、こどもの視点に立った交通安全対策を進めています。



佐賀県内の歩行中の交通事故による死傷者数



※出典：佐賀県内の歩行中の交通事故死傷者数 (R1～R5合計)

